

別府市備蓄計画（公的備蓄）の概要

基本的な考え方

- 災害時の備蓄は、「自助」の理念に基づき、市民自らが災害に備え備蓄を行う。
- 県及び本市は、自発的な備蓄に取り組むよう啓発に努める。
- 市民の備蓄を補完するため、発災初期における生命維持や生活に最低限必要な物資を備蓄する。

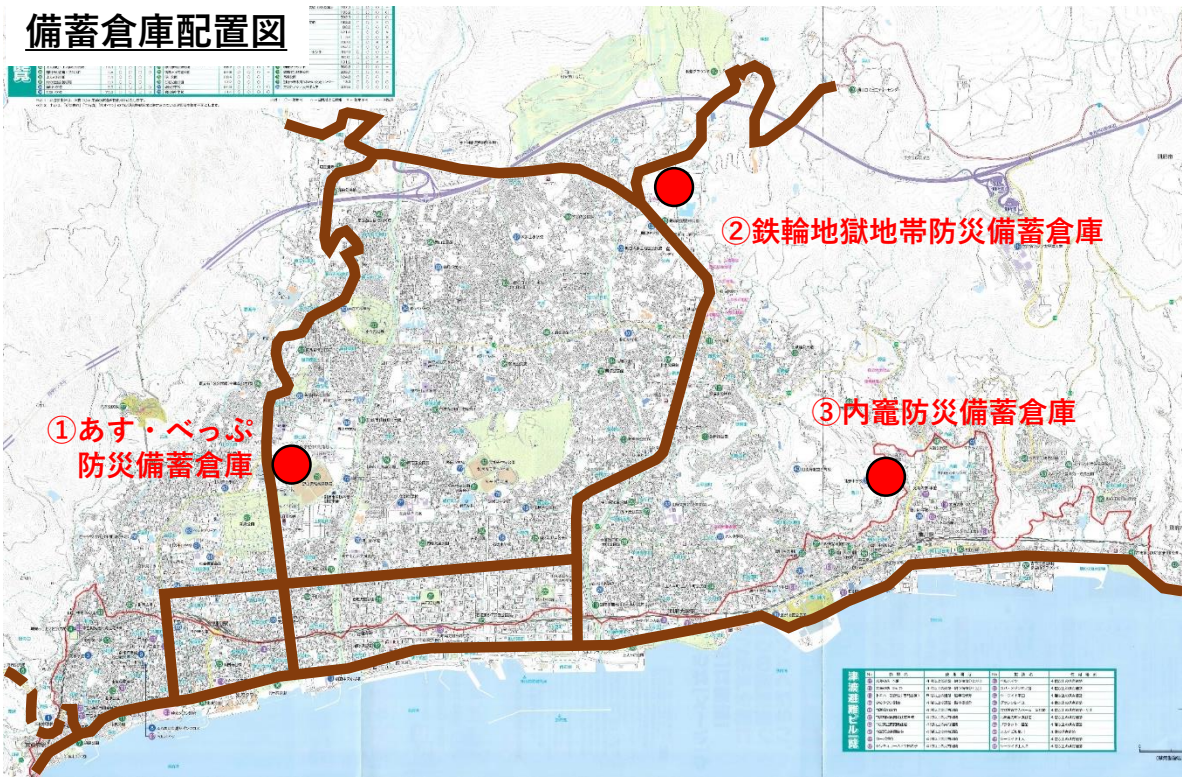
備蓄目標

- 【考え方】
- ・東日本大震災における避難者数を大分県の人口で換算した18万人を最大避難者数として、備蓄目標を算定（沿岸部17.5%・内陸部3.8%）
- 【備蓄目標となる最大避難者数】
- ・本市の最大避難者数20,181人
- 【備蓄品目】
- ・主要4品目（主食、副食、飲料水、毛布）
 - ・要配慮者に必要な物資
 - ・感染症対策に必要な物資
 - ・その他（資機材等）

備蓄場所

- 【考え方】
- ・災害の発生場所の予測、道路等の寸断を考慮し、分散配置を基本とし、備蓄目標が確保できる施設等を確保し、整備する。
- 【備蓄倉庫の場所】市内3か所
- ①あす・べっぷ
 - ②鉄輪地獄地帯公園内
 - ③内竈多目的広場内
- 【その他、備蓄場所】
- ・収容避難所（市立小中学校＋地区公民館等：33か所）
 - ・福祉施設等（一部、福祉避難所として使用）

備蓄倉庫配置図



自助・共助・公助の分担図

①主食・副食・飲料水＋マスクなど

自助・共助 1／3	公助 2／3	
	流通物資 1／3	現物備蓄 1／3
		市 1／6

県 1／6

・毛布＋その他

公助		
流通物資 1／2	現物備蓄 1／2	
	県 1／4	市 1／4

主な備蓄品と目標量

品目	単位	数量
主食	食	48,961
副食	食	20,800
飲料水（500ml）	本	60,543
毛布	枚	10,091
紙おむつ（小大）	枚	4,801
簡易トイレ	基	404
ベット	基	4,542
マスク	枚	10,090
消毒液（500ml）	本	410
その他、資機材等		

その他

- ・年次購入計画による備蓄品の確保
- ・賞味期限物資（食料品）の有効活用（訓練、フードバンク等への配布）